

教育事務所名	県南教育事務所	学校名	石岡市立東小学校	職名	校長	氏名	大倉 宏一
<b>【目的】 勤務校の実態を把握し、職員の時間外在校等時間の縮減のために具体策を実践することができる。</b>							
1 現状	7月の超過勤務について ・平均超過勤務時間：1日あたり2時間39分 ・月あたり超過勤務45時間オーバー職員 59% ・超過勤務時間の業務内容の見直し（削減，縮小）						
2 「キャップ（上限を定める），カット（削減，縮減，見直しをする），効率化」の推進に向けた具体策（具体的な取組）について							
	校内での取組			教育委員会と連携した取組（校長会としての取組）			
時間割の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務時間内で，学年会ができるように，時間割の組み直し。</li> <li>各教科の授業時数をもとに，繁忙期の5時間授業実施</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>専科教員の配置</li> </ul>			
朝の業務 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の立哨指導の廃止</li> <li>児童の登校時間の見直し（7：40以降）</li> </ul>						
授業・授業準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習指導教材（指導案，学習プリント等）の共通化</li> <li>I C T教材が有効活用できる wi-fi 環境の整備及び教材の拡充</li> <li>一部教科担任制の導入</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>校務支援システムの導入にむけて要望提出</li> </ul>			
放課後の業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアの活動（新型コロナウイルス感染防止のための消毒作業）</li> <li>下校時のバス発車時刻の厳守</li> <li>下校指導の回数・方面の削減</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>校務支援システムの導入にむけて要望提出</li> <li>給食費の公会計化の要望</li> <li>留守番電話の設置</li> </ul>			
会議・研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員会議の資料のペーパーレス化（拡充）</li> <li>会議・研修開始時間の5分前集合，終了時間の徹底</li> <li>会議の検討事項の見直し</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>市教育委員会主催の研修会の実施回数，内容の見直し</li> <li>訪問時の指導案の簡略化</li> </ul>			
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>土日の学校を使用しての地域行事への職員配置の見直し</li> <li>長期休業中の事件事故の連絡依頼（警察署・消防署など）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>学校閉庁日の設定</li> <li>除草作業などの業者委託の要望提出</li> </ul>			

### 3 1ヶ月の超過勤務45時間を超える者「0」を目指すためのカリキュラム・マネジメント

1 超過勤務45時間を超える者「0」を達成するには、学校の自助努力・職員の意識改革と地域・保護者・市教委等の関係機関との連携協力のもとに、「キヤップ（上限を決める）、カット（削減、縮減、見直し）、効率化」を図っていく必要がある。

A：学校の自助努力：勤務時間内の業務、カリキュラムの見直しにより事務処理時間の確保を図る。

ア 時間割の工夫（勤務時間内での学年会実施、繁忙期の5時間授業日実施、一斉下校実施）

イ 日課表の見直し（清掃の縮減、休み時間の見直し）

ウ 学校行事の見直し（運動会の縮減、音楽集会の縮減）

エ 地区行事への参加の精選（学校を使用しての行事は、場所と器具の貸し出しのみで地区の責任者の監督の下実施）

オ 学習教材（学習プリント）の共有化と学習指導案の簡略化

カ 会議のペーパーレス化の推進

キ 協働で児童を看護する体制の継続（業間、昼休みの校庭、昇降口）

等を行い、勤務時間外に行っていた業務を、勤務時間内に行えるようにする。

B：職員の意識改革：時間の有効利用

ア 業務内容の優先順位の見直し、削減（週案の廃止）

イ 定期出勤日の設定により、週の放課後の時間の使い方を見直し。

ウ 残業の業務内容の明確化と終了時刻の設定

C：地域・保護者・関係機関との連携協力

ア 地域ボランティアの活用（新型コロナウイルス対策の消毒作業）

イ 留守番電話の設置（市の設置）

ウ 朝の立哨指導の廃止（保護者の協力、交通指導ボランティアの活用）

上記のA、B、Cの活動をうまくリンクさせることができれば、目標が達成できると考える。管理職は、職員集団や個人の視点で、マネジメントをすることが重要である。